

講義コード	1053660002
講義名称	教育学概論 02<秋>
科目英文名	Introduction to Pedagogy
開講責任部署	共通教育機構（資格課程）
代表ナンバリングコード	0EDU1410
単位数	2.0
時間割	秋学期: 月曜日 5 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
伊藤 潔志

授業形態	講義	アクティブラーニング
------	----	------------

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。 コメントシート	小レポート/小テスト
---------------	---	------------

講義・演習概要	教育は誰でも経験しており、誰でも教育について語ることができます。しかし、あらためて「教育とは何か？」と問われると、答えに窮してしまいます。この講義では、「教育とは何か？」という問いを念頭に置きつつ、教育理念を歴史的・思想的に考察し、これまでの教育や学校の営みがどのように理解され、変遷してきたのかを考えていきます。
学習（到達）目標	① 教育の基本概念を歴史的・思想的に理解する。 ② 教育史に関する基本的知識を身につけ、それと教育理念との関係を理解する。 ③ さまざまな教育思想を理解し、それと教育理念との関係を理解する。 ④ 教育の現状と課題とを理解し、あるべき教育について考えることができる。

講義・演習計画

回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	教育と教育学
第3回	教育の基礎理論①：教育の場所
第4回	教育の基礎理論②：教育の用語
第5回	教育の基礎理論③：教育と人間
第6回	教育の基礎理論④：教育の意義
第7回	教育の基礎理論⑤：遺伝と環境
第8回	教育の基礎理論⑥：教育の目的
第9回	教育の基礎理論⑦：目的と意図
第10回	近代の教育思想①：実学主義
第11回	近代の教育思想②：啓蒙主義
第12回	近代の教育思想③：新人文主義、ペスタロッチ
第13回	近代の教育思想④：ヘルバルト、フレーベル
第14回	現代の教育理論
第15回	現代の教育改革、まとめ（今後の教育を考える）

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	0%
レポート	30%
その他	70%

成績評価の方法（コメント）	・評価は「レポート」（30％）と「授業課題」（70％）を基に総合的に判断する。 ・提出物はすべてWebClassを通して提出する。 ・2回のレポート提出と10回以上の出席を単位認定の基本条件とする。
---------------	---

テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.	伊藤潔志	哲学する教育原理	大学オンライン販売	978-4909378118	教育情報出版	

参考文献	① 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東山書房、2020年。 ② 文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編』東山書房、2019年。 ※その他、必要に応じて資料を配布する。
事前および事後学習の指示	事前学習：授業内で指示された文献の所定の箇所を講読する。 事後学習：授業資料をよく読む。
学習時間	事前学習時間：30時間 事後学習時間：30時間

講義コード	15E3920000
講義名称	ソーシャルワーク論ⅢB　＜秋＞
科目英文名	Social Work ⅢB
開講責任部署	社会学部　ソーシャルデザイン学科
代表ナンバリングコード	SOCW3410
単位数	2.0
時間割	秋学期: 月曜日 5 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
塩田　祥子

授業形態	講義	その他	実務経験のある教員による授業①
	演習	実習内容を反映等、振り返りシートに活用する時間を設ける。	研修、社会福祉士会での活動を通して知りえた情報をもとに、現場のリアルを伝える講義を努める

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。	
	コメントシート	その他 実習内容を反映等、振り返りシートに活用する時間を設ける。

講義・演習概要	[授業の目的・ねらい] より実践的かつ効果的なソーシャルワークにおける様々な理論、方法を習得し、社会福祉士に求められる視点、役割、意義を理解する。 [授業全体の内容の概要] ソーシャルワークの基礎的な理解と実践活動にとって重要と思われる様々な知識の獲得を目的としている。具体的には、ソーシャルワークにおいて基本となる「人と環境との交互作業」の概念について理解を促す。またその視点にもとづいて、ソーシャルワークの対象や援助関係及び展開過程を理解することで、実践活動としてのイメージ化ができることを目指す。
学習（到達）目標	[授業修了時の達成課題（到達目標）] ・ソーシャルワークにおける事例分析の意義や方法、実際について理解する。 ・個別事例の具体的解決策及び事例の共通性、一般性を見出す ・実践としてのソーシャルワークについて個々具体的にイメージできるようになる。

講義・演習計画

回	内容
第1回	秋学期授業の概要説明、春学期授業内容の振り返り
第2回	カンファレンスの意義、目的、留意点、その運営と展開
第3回	事例分析の意義と目的
第4回	事例検討、事例研究の意義、目的、方法留意点
第5回	多様化、複雑化した生活課題への対応について事例を用いて考察
第6回	今日的な福祉課題、また、分野横断的な視点について事例を用いて考察
第7回	家族支援の実際、その目的、方法、留意点
第8回	家族支援の実際、その複合的な生活課題についてのアセスメント
第9回	家族支援の実際にもとづいて、計画策定
第10回	地域支援の実際として、地域が抱える課題について事例を用いて考察
第11回	地域支援の実際として、地域住民との共同、他機関の協働について考察
第12回	地域アセスメントの実際
第13回	非常時、災害時における支援の目的、方法、留意点
第14回	ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーションの意義の理解

第15回	全授業の総括を行い具体的、実践的ソーシャルワークについて多面的理解
------	-----------------------------------

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	50%
レポート	30%
その他	20%

成績評価の方法（コメント）	授業最後に試験あり。毎回授業後に振り返りシートを記入。
---------------	-----------------------------

事前および事後学習の指示	新聞記事等を閲覧し、社会情勢を意識する。授業後は、授業中の配布物を再度確認すること
学習時間	事前学習時間：30時間 事後学習時間：30時間
備考(管理者用)	(旧：ソーシャルワーク論Ⅲ) 09～10SW生読替

＜社会人の方へ＞社会福祉士国家資格受験のための科目ですので、専門的な内容となります。

講義コード	17F1220000
講義名称	Japanese Studies-アニメにみるエコロジー　＜秋＞　※英語による講義
科目英文名	Japanese Studies-Ecology through Animations
開講責任部署	国際教養学部　英語・国際文化学科
代表ナンバリングコード	LACL3400
単位数	2.0
時間割	秋学期: 月曜日 5 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
尾鍋　智子

授業形態	講義	アクティブラーニング	その他 グループディスカッション(完全に英語のみで行う)
------	----	------------	---------------------------------

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。 ディスカッション(話し合い)
---------------	--

講義・演習概要	Two of the global leaders in popular animation, Ghibli Studios and Disney, have created captivating animations with endearing characters in archetypal stories that reflect a deep spiritual empathy with nature. In this class we will compare and contrast Japanese and Western thoughts about ecology as seen through some seminal films of these two animation giants. By examining these popular art works within the context of their historic Christian, Shinto, and Buddhist philosophies, as well as modern ecological movements and thinking, we will come to better appreciate the similarities and differences between Western and Japanese thinking, and their development in the past few decades.
学習（到達）目標	Each class will present a comparison of one aspect of ecological thinking and its distinct expression in one Ghibli or Disney film. These “case studies” will demonstrate an understanding of ecological thinking and analysis.

講義・演習計画

回	内容
第1回	Overview: How and why do we study ecology in popular culture?
第2回	Nature worship: Our Neighbor Totoro 1
第3回	Nature worship: Our Neighbor Totoro 2
第4回	Questioning the hierarchy of human beings, animals, and plants: Bambi 1
第5回	Questioning the hierarchy of human beings, animals, and plants: Bambi 2
第6回	Questioning the hierarchy of human beings, animals, and plants: Bambi 3
第7回	Summary and Mid-term exam
第8回	Deep ecology: harmony through female power in Nausicaa and Cinderella 1
第9回	Deep ecology: harmony through female power in Nausicaa and Cinderella 2
第10回	Deep ecology: harmony through female power in Nausicaa and Cinderella 3
第11回	Deep ecology: harmony through female power in Nausicaa and Cinderella 4
第12回	Japanese popular ecological thought in Princess Mononoke 1
第13回	Japanese popular ecological thought in Princess Mononoke 2
第14回	Japanese popular ecological thought in Princess Mononoke 3
第15回	Summary/Final exam

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	100%
レポート	0%
その他	

成績評価の方法（コメント）	Mid-term and final exams 100% 中間試験および期末試験 100% 毎回出席が原則。5 回以上欠席すると評価の対象外となる。ただし公認欠席は除く。15分以上の遅刻を 3 回した場合 1 回の欠席としてカウントする。日本語での解説は一切行わないので授業の内容や他の学生の発言がほぼ100%理解できる英語力があることが望ましい。グループディスカッションも必ず英語のみで行うこと。完全英語のみの授業であることを理解した上で履修すること。
---------------	---

事前および事後学習の指示	Students are expected to review each week's topic after class focusing on specific scenes of analysis.
学習時間	事前学習時間：30時間 事後学習時間：30時間
キーワード	Japanese ecology, popular culture, gender studies
備考(管理者用)	英語による講義☆（旧：学科特殊講義－アニメにみるエコロジー）02～11L生読替